

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Curettage and electrodesiccation in the treatment of midfacial basal cell epithelioma	
	論文の日本語タイトル	顔面正中部の基底細胞上皮腫に対する搔爬・電気凝固治療	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ14-3	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID	6853782	
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Am Acad Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	8	
	号	4	
	ページ	496-503	
	ISSN ナンバー	0190-9622	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1983	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Salasche SJ	Dermatology service, Department of Medicine, Brooke Army Medical Center
その他著者 1		Colonel MC	
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	高リスク部位である顔面正中部（鼻、鼻唇溝）の基底細胞上皮腫に対する搔爬・電気凝固治療	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	Brooke Army Medical Center	
	対象者	100 例の BCC 患者 未治療で結節型ないし結節潰瘍型であり、発生から 2 年以内、直径 1cm 以下、前治療なしという条件を満たす。	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 14 ）	
	介入（要因曝露）	C&E 治療	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	局所の腫瘍残存率	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	高リスク部位である顔面正中部（鼻、鼻唇溝）の BCC に対して搔爬・電気凝固治療を行った場合、十分な治療を行ったにもかかわらず 30%に腫瘍の残存がみられ、一方その他の頭頸部では 12%にとどまった。 組織学的には有毛部では腫瘍が毛包に沿って下方に進展していることがあった。	
	結論	C&E 治療は、高リスク部位である鼻・鼻唇溝部位には行うべきではない。この部位では根治が難しく、整容的機能的障害を残すこともあり、むしろ MMS が推奨される。有毛部では取り残すことになるのでこれを行うべきではない。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 厳選した症例に対して C&E 療法を行い、治療効果を判定してかつ残存腫瘍の組織学的検討加えているので、エビデンスレベルは高い。	